

### 介護難民をつくらないために

市民と歩む会 村田 隆男



**質問**→在宅介護で保険を適用しないで介護する家族に対してヘルパー代の支給を、また、低額年金者同士の共同生活の場所と支援はできないか。

**答弁**→介護保険制度では認められていない。

い。市独自の要介護四、五で住民非課税の条件で家族介護慰労金支給事業はある。共同生活についても、津山市の財政状況では無理がある。

**質問**→生活安全道路の確保は、危険箇所点検、補修を。防犯灯、街灯の増設と青色灯で犯罪のない町を。

**答弁**→危険性、緊急性の高い箇所を優先的に実施。青色灯の設置は研究、啓発する。

**質問**→老朽化した各市営住宅の新築の予定と点検、補修をまた若者向け住宅と分譲宅地確保の提案をする。

**答弁**→住宅マスタープランの中で総合的に検討して参りたい。

### デマンド式乗り合いタクシーの試行を

公明党津山市議団 川端恵美子



**質問**→市内ではごんごバス、福祉バス等いろんな形態のバスが走っている。しかし乗車率の低い路線がある一方で生活に不便なため週一回でも二回でもバ

スを通らせてほしいと切実な要望もある。市の交通政策と住民ニーズにミスマッチがあるのではないか。

**答弁**→市は市内の公共交通のあり方について地域公共交通会議を立ち上げ総合的に検討し協議を進めている。

**質問**→和気町は地域特性を勘案したドアツードアのデマンド式の乗り合いタクシーを始めた。交通空白地を解消し利用者も多く好評である。デマンド式乗り合いタクシーへの切り替えやモデル地域での試行はできないか。

**答弁**→来年度に向け関係機関と共にデマンド式タクシー等の新しい方式の研究を進めたい。

### 来年度より中山間地域へ拡大

みどりの会 川崎 修



**質問**→農地・水・環境保全向上対策の取り組みと、津山方式の内容は。

**答弁**→来年度から、中山間地域等直接支払い制度の取り組み地域を対象とした

面積要件を20ha以上とした。

**質問**→農業・農村の振興策は津山市行政の中心に据えるべきである。

**答弁**→国の政策を見極めながら取り組んでいくが、津山市行政の中心である。

**質問**→担い手農地集積高度化促進事業に対する基本的な考えは。

**答弁**→できることから取り組みたい。その中で津山方式なり「しあわせづくり」等の予算が生まれると考える。

**質問**→子供を取り巻く行政組織の一元化への取り組みは。

**答弁**→必要性は実感している。長期的視野に立って取り組みたい。

**質問**→気象観測点の整備を提言した。

**答弁**→現在、公立の幼稚園のあり方を教育委員会で、公立の保育所のあり方を福祉事務所で検討している。少し後追いはなるが、本年中には幼稚園、保育所、未就園児を含む、市全体の就学前教育のあり方について、外部の専門家を委員に入れた委員会を立ち上げ検討する予定で現在準備を進めている。

### 年内に「就学前教育あり方委員会」発足

津山新星会議 吉田 耕造



**質問**→市全体の就学前教育のあり方を、議論すべき時期に来ているのではないか。

**答弁**→合併後四年目を迎える新年度には不公平感のない統一されたものになるよう、当初予算編成までに調整を図りたい。

**質問**→旧市町村で格差のある、補助金、使用料等の二十年度に向けての対応策はどうなっているのか。

**答弁**→合併後四年目を迎える新年度には不公平感のない統一されたものになるよう、当初予算編成までに調整を図りたい。